PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第45号
'99, 8, 2 発刊

久々の…Yeah!マネージャーNo5 ～身体検査の巻～ チーフ井上

拝啓 August

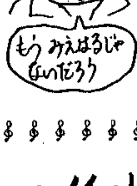
8月です！夏です！燃えたぎる太陽にとろけそうなアスファルト 逃げたい！隠れたい！真夏の避暑地へ… ロッキートップはそんな場所でありたいです。どうぞ、一日の終わりに逃げこんできて下さい！

今月の田口マスターの動き

◎車を買い替える！

ちょー安値で買った軽自動車スバルのREX(マレ)におさらばし、4WDのトヨタスプリンターカリブにチェンジする。かなり思い切った決断だ。それもこれもマレ君とまたらクラーは効かなくなるし、ファンベルトはちぎれるし、全くもって問題児だったからだ。お封に新車の契約をしたとたんクラーが効きはじめるという反抗もを見せていた。「これで大好きな釣りにも安心していけるぜ」と本人喜んでおりますが本当のところは、これで女も釣れたらーーと思ってるあめです。

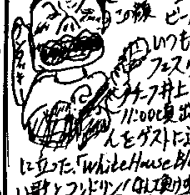
◎みえはるから おさらば…



あまりにみんなから「みえはる！みえはる！」と言われていたのを苦にしていたマスター。映画「評決の時」を見ていて、「これだー！」という髪型を発見した。それになってくる黒人の弁護士のオールバックが、かっこ良かったのだ。さっそく一人鏡の前に立ち、オールバックにした。「これだ！へへへ」得意気に現れたのだが、不倫離れの「鼻」じゃないが、それはそれでなんだかおかしくて、笑ってしまった。

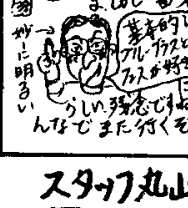
チーフ井上の千葉フェス日記

7/24.25と第24回千葉ブルーグラスフェスに行ってきました。雨にたたられた この2年だっただけに快晴！風も心地良く吹いていて本当にうれしかった。行きは田口マスターの車に乗せてもらったのだが、140kmぐらい出していたところを「パシャッ！」とフラッシュをたかれ、「やべーやべ」と大騒ぎ。でもフェス会場に着いたとたん、そんなことはすっかり忘れてしまった。若手の軍団に合流しましたが、年々関西、北海道あたりから人が流れてきて20人以上になっていました。しかしその中に女性が2人で2人とも人妻というのは悲しい事実でした。初日は朝5:30頃までジャムをしました。マントリング内のぶっ飛びぶりには驚かされた。

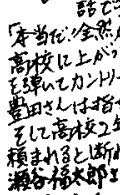


翌日は朝から日射しが強くビールをがんがん飲んだ。いつもの顔がぽつぽつ集まってきてフェスらしくなってきました。チーフ井上とフォークリフトボーイズは夜の11:00頃出演で緊張の本間さんをゲストに迎え初めて一緒にステージに立った。「WhiteHouse Blues」！本間さんのすきまじい歌とマンドリン！なんかすげ嫌いなオヤジなんだ～でもとても楽しかったぜ！

その日夜はそスタッフの木村と飲み明かしました。



カントリーな人達 ～Meet The Country Music～ ③



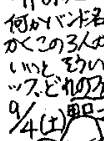
カントリーとの出会いを通してカントリーを考察するこのコーナー。今回は町内会と共にロッキートップ出演バンドの最古株(17年連続)ワイルドターキーのリーダーベースの豊田和夫さん(51)です。

頼まれると断われないお人好しが続けさせた！

→少年時代、日本では洋楽のポップスのカバーが全盛だった。坂本九、森山加代子、ジェリー藤尾etc.豊田さんはアメリカへの憧れと共にそれらを聴いて育った。中学に入って人生を変えられる一人の友と運命的に出会う。それが現ワイルドターキーのドラムの長野さんだ。以後高校、大学、そしてバンド活動を通して40年のつき合いになるとは当時は思わなかっただろう。長野さんと共に音楽の話で盛り上がった。「日本より本物のアメリカのポップスの方がかっこいいぜ！」FENで原曲の方を聴いた「本当だ！全然かっこいいや～」それから洋楽にはまっていったのだ。中学が明大の付属ということもあり、そのまま高校に上がった。そこで一般受験で入ってきたきさか君という人が高校に旋風を巻き起こす。彼は中学からエレキを弾いてカントリーバンドをやっていて高校でもバンドを作ろうと人を集め始めたのだ。豊田さんは皆をくわえて見ていた。そのバンドを見てカントリーを知り、「親しみやすくていい音楽だなー」と思った。そして高校2年の文化祭のあと長野さんの爆弾発言が出る「どーしても俺ドラムやりたいから豊田おまえベースやれ」頼まれると断われないお人好しの豊田さんはしぶしぶベースを弾くことになる。ギターも弾けない、全くのからのスタートだった。瀬谷福太郎さんに師事して手とり足とり教わった。実は左ききだったが人の好い豊田さんは言いなぜず、ベースの時だけは右ききになった。色んなカントリーバンドの演奏に足を運び見て覚えた。当時一番好きだったのはバッファローエンズ。ビールが効かいたエレキサウンドはとても刺激的だった。大学に入ってものめりこんでバンドを続けた。そして卒業の時、解散コンサートをやって「これで終わりかな」と思ってた豊田さんに声をかけてきたのが金平隆さんだった。人の好い豊田さんは断れず、それから月に2,3回、米軍キャンプ、ジャンプ回りをすることになる。今ふり返っても、とても楽しい思い出。そしてワイルドターキーを結成したのが今から20年ほど前。それからはロッキートップを中心に今までやってきた。今後の把握は？っ把握はないけれど、できる限り長く続けていきたい。若い人達にも見てほしいそしてカントリーは楽しいものだと知ってほしい！との事です→8/10(火)に出演します

☆途中携帯TELが鳴ってインタビューが途絶えたのだが、その着メロが「Your My Sunshine」だったこともつけ加えておこう

スタッフ丸山朝の仕事首に



ロッキースタッフの中でも不動想No1を誇る、ロッカー丸山が朝の仕事「屋敷しもの モーニングサービス」をついに首にさせられた。朝5:00過ぎには無理がありバイト先からのモーニングコールにしびれて寝てたり、無断欠勤をくり返したあげくの出来事。しかし彼の人生の中では最もよく働いた2の3か月間だったに違いない。「これからどうするだ？」ときくと「とりあえず8月までは大丈夫なんだけどね」と続の年給を見せている。まっと一日200円で生活するつもりなのだろう。こんな丸山の最も楽しみにしているのが、ロッキーでチップをもらうことです。

Pick Up Live!

8/11(水) Shime 西浜宇戸
何かバンド名はないのかっていう気も多少するが、とにかくこの3人がやるとそして何をやってもかっこいいとをいうことです。カントリー、ブルーグラス、ロックどれのファンでもOKです！

9/4(土) 田口マスター出身のRocky Mountain Climbers
ついにやります。ブルーグラス界の守り田ヒカル小野まりこがリードボーカル。まっと弾けてくれるでしょう。ロンサム・グラスボーイズ、このジョイントです